5. 助動詞

これは問題集の問題の解答に必要最低限の知識をまとめたものです。 英語が苦手な人もこれだけは覚えよう! 助動詞は、 意味を覚えることがとても重要なので、 整理して覚えておこう。

例題 35	He looks	very young. I	He ( ) be over fi	<b>fty.</b> 彼はとても若くり	ええる。50 を超えている <b>はずがない</b> 。			
,	① canno		② will	3 must	4 may			
( 47 = 2 \	【助動詞の	<b>. 其 士 1</b>	最低でもこれだけ	け細さえておごう	ŧ			
<b>し月午また</b> ノ	(1)can		<b>あ</b> 出てもとれたの  (b) ~でありうる					
	(1) Gail		<u>はずがない</u>					
	(2) must				ない (禁止)ⓒ ~にちがい	ない		
	(3) may	_	よい b ~かもしれ					
	(4) need		る必要がありますか		?			
		<u>(b) (否) ~す</u>	る必要がない Sn	eed not V ~.				
			基本を押さえ	て 1)~5)を解こう。		A. ①		
例題 36	If we wa		big impact, ( ) 。 きな影響を与えたいと思う		V campaign. ペーンを行うことを考えなければ <b>なら</b>	<u> うないだろう</u> 。		
	① we'll	have to	2 we have better	3 we had to	4 we've got			
<ul> <li>※ have only to V: ~しさえすればよい/~だけしなければならない</li> <li>Ex) In order to know the applicant, we have only to talk with her face to face for half an hour.</li> <li>(その応募者の人となりを知るには、30 分間面と向かって話すだけでよい。) Next Stage P30 46.</li> <li>A. ①</li> <li>細かいところですが、確実に! 6)7)に正解しておこう!</li> </ul>								
例題 37	Since yo	u have a bad	cold, you really (	) stop smoking.	いているのだから, ぜひとも喫煙をや	) み ス <b>ペキゼ</b>		
	①		①l		4 ought to	める <u>***とた</u> 。		
	① may	,	② need		(4) Ought to			
(解彰)	ought to V	= should \	/ : ②~すべきだ		ず <i>た</i> :			
	-		~すべきでない。		, . <u>-</u>			
				in the house. (彼	らはあの子を家に1人にしておく <u><b>べき</b></u>	<u>ではない。</u> )		
				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		A. 4		
例題 38	She said	l I that she <u>wo</u>	uld rather not (	) it right now J.	彼女は今そのことを議論 <u>したくない</u> と	:言った。		
	① discu	ss	② to discuss	3 discussing	4 discussion	•		
(解説)	※ 否定	would rather no	ろ(どちらかという ot V : むしろ(どちら	かというと)~したく	ない			
	Ex)	I would rathe	$\underline{\mathbf{r}}$ $\mathbf{stay}$ home. (私は家)	こ <u>いたいです</u> 。)		<b>A</b> . (1		
						£1. (1		

熟語として覚えてしまおう! 9)10)で確認!

① no go	oing out	② not going ou	ıt 3 r	not go out	④ no to go out	
(解説) had bette ※ 否定		方がよい ot V : ~しない方:	がよい			
		1問だけ	! 8)を確実に	合わせよう!		A. ③
		1,-3,-0.1	0,0-2,00			
例題 40 Jack (					若いころ,たくさんタバコを <u>¶</u>	
① used to s	smoke	② used to smoki	ng ③ ι	uses to smoke	④ was used to	smoke
(解説) used to V		別慣的動作「〜した ■続的状態「以前に		1	ない」という意が含まれる	
<b> ≫would often V</b>		慣的動作「~した		i i	ない。という息が含まれる	
Ex	• 0	ther <u>would often</u> は週末に私を <u>よく</u> 動物園に			ekends.	Å. ①
		違いを確認し	して!11)12	!)を解こう!		A. ①
例題 41 I asked	several ques	tions, / but she (		nswer any of t つかの質問をした	hem. が,彼女はそのどれにも <u>答えよ</u>	<u>:うとしなかった</u> 。
① migh	nt	2 must	3 8	should	4 would	
(解説)【主語の拒 will not V would no	: どうし	す will not V, woul ても〜しない ても〜しようとしな:				
Ex	) He <u>won't</u> lis	eten to our advice	. (彼は私)	たちの助言を聞こ	<u>としない</u> 。)	<b>A</b> (7)
	盲	点となる will の用	法です。13)	で確実に確認し	よう!	A. ④
例題 42 Look, tl	he whole gard	den's white. It (	) during	the night. ほら,庭一記	面真っ白だよ。夜の間に雪が <b>隆</b>	ったに違いない <u>。</u>
① must		② 1	② must be snowing			
3 must	t have snowe	d	<b>4</b> 1	nust have bee	en snowed	
	have 過去分	詞 :~したに	違いない			
		<u>e told</u> me a lie. ∵詞  :~したは		<u>言ったにちがいない</u>	<u>()</u>	
	<u>t</u> <u>have 過去分</u> He connet be			がなわなの計画な巫	<i>けるわたけ╅が</i> が <i>ひい</i>	
	ne <u>cannot na</u> have 過去分詞	<u>ive accepted</u> your <b>a : ~したか</b>	rpian. (仮) もしれない		11//NO UILYA Y N"/AV ")	
		e heard this joke			<i>ゝたかもしれませんね。</i> )	•
				, <u>,</u>		
						A. ③

暗くなってからはひとりで外出**しないほうがいい**よ。

例題 39 You had better ( ) alone / after dark.

例題 43	You (	) his face [ when I	told him the	e news yesterday. ] 昨日彼にその知らせを伝えた時の彼の顔を <b>見せてやりたかったよ</b> 。			
(	① may see	② oug	ht to see	3 might	see ④	should have see	en
(		i詞 have 過去分詞 t have 過去分詞			表す)②】 ったのに。(実際	はした)	
		need not have bou					
		have 過去分詞 to have 過去分詞	_		このに(実際はし ている] はずだ	ノなかつた)	
	Ex) You	should have got u	<u>p</u> at seven. (5)	なたは 7 時に <u>起きる</u>	らべきだったのに <u>。</u> )		
	• •	not have 過去分詞 t not to have 過去分		<b>べきでなかった</b>	とのに(実際はし	<b>ンた</b> )	
	Ex) We	should not have tu	<u>ırned</u> left at tl	ne last corner	: ( さっきの角を左ん	こ <u>曲がるべきではなか</u>	<u>ったのに</u> )
	助	動詞を用いた過去の	事を表す表現の	②! 18)~22	)に挑戦しよう!		A. 4
例題 44	I recomme	ended [ that she (	) the profe	ssor.]		私は彼女に教授に <b>全</b>	<u><b>うよう</b></u> 勧めた。
	① had se	en ② sav	w	3 should	see ④	would see	
(	(解説)【tha	ıt-節で「(should +)	原形を用いる表	現①】			
	S +	- V [that S' (sh	nould )V'(原	形)~]			
*	V に「要求・i	堤案」を表す動詞の場	合, that 節内の	D should は省	略されることが多	いので, V' は原形	となる。
*	V に来る「要		I				
	demand 「		order「命章		• " ' • '	se「提案する」	
	suggest「抗 advise「忠		recommend decide「涉	ゴ「勧める」 <del>I</del> 定する I		st「懇願する」 「要求する」	
	advise 1 Ags		acolac p	(AL 7 O 1	moiot		例題7参照)
							A. ③
(	(解説)( tha ———	at-節で「(should +)	原形を用いるま	表現②】 	_		
	lt i	s *形容詞 [ that	S' (should)	V' (原形) ~			
*	<sup>※「</sup> 必要・要才	<b>ጰ・感情・主観的判断</b>	」を表す形容詞				
	necessary		essential <sup>f</sup>			ible「望ましい」	
	important「 strange「オ		right「正し	い」 「驚くべき」		al「当然の」 <sub> </sub> 「悪い」	
	a pity「残れ		oui pi ioiily	一篇 7. 76 ]	WION	10.4€ T	
	Ex) It's na	tural [ that she <u>sh</u>	<u>ould be</u> surpri		_	するのも当然だよ。)	

## ここは復習内容です。23)~25)に取り組もう!

例題 45 One ( ) be too careful / when driving in busy streets.

繁華街で車を運転するときはどんなに注意してもしすぎることはない。

(1) cannot

② need not

③ should not

4 must not

## ※ 助動詞を用いた慣用表現

(1) cannot···too~

: どんなに~しても…しすぎることはない

You cannot be too careful / when you swim in the sea. (海で泳ぐときはいくら注意してもしすぎることはない。)

(2) cannot help Ving

: ~せざるをえない

=cannot but V

=cannot help but V

I cannot help crying / when I hear that song.

(その歌を聴くと、私は泣かずにはいられない)

(3) may well

: @~するのももっともだ **b**おそらく…するだろう

She <u>mav well</u> be tired after her trip. (彼女はたぶん旅行の後で疲れているのだろう)

(4) may as well A as B

:B するくらいなら A する方がいい/B するのは A するようなものだ

You might as well throw your money away as buy such a thing.

B (そんなものを買うなんて、お金を捨てるようなものだよ。)

(5) may as well V

:~した方がいいだろう

You'll never solve that problem. You might as well give up.

( 君はあの問題を解くことは決してできないよ。諦めた方がいいよ。)

(6) would like to

:~したいと思うのですが

I'd like to join your team. (あなたたちのチームに入りたいのですが。)

最後に 26)27)をやって、①は終わいです。内容を着実に身に着けるために、引き続き②穴埋め問題、③正誤指摘問 題④並べ替え問題に取り組んでください。 助動詞は, 意味を覚えることに重点を置きましょう。 なかなか覚えられない 場合は、反対の意味は?否定は?など1つの助動詞から関連させていくのもひとつの方法です。

Next Stage は P30~P39 が助動詞の範囲ですので、時間を見つけて復習してください。

## 【連絡事項】

Next Stage を、自分でドンドン自主学習して下さい。ペースとしては、5月中にひと通り終わるのが、理想です。覚え る→忘れる→覚えなおし・・・の繰り返しで、 やっと自分の身についていきます。 しんどいですが、 努力をした分自信に つながいます。 早め早めに計画を立ててやいきいましょう。 休校明けに Next Stage のテストを行う予定にしています ので、頑張ってください。(テスト範囲等は後日連絡します)